

奄美市、本庁舎建設

奄美市は、本庁舎(名瀬)建設に伴い「奄美市本庁舎建設基本構想策定委員会」を設置し、庁舎の建設場所や建設規模等について検討を始める。順調にいけば9月ころにも第1回会合を開き、約1年かけて協議し市長に答申する方針だ。

建物規模を検討へ

構想 基本策定委を設置



庁舎建設事業は、3用(名瀬、笠利、住)が築45~50年経過しており、老朽化が著しく、耐震性に問題がある可能性が高いことから、いずれも建て替えを計画。全体事業費は50~60億円程度を見込んでいる。計画によると、笠利、住用の2総合支所を先行して整備

市本庁舎
建て替えが計画されている奄美

後、名瀬の本庁舎建設に着手する予定。特例債期限内(27年度)の完了を目指し、事業推進を図る。

同市では、委員会設置に伴い、委員を募集。

応募資格は、①市内に居住する満20歳以上(2012年4月1日現在)②国および地方公共団体の議員または職員でないこと③特定の個人、団体を支援または批判することなく、将来の奄美市の発展のため、公平かつ真摯(しんし)に協議してもらえる人」となっている。募集人員は3人

20年以上が65%

鹿児島市議会は1日、桜島爆発対策特別委員会(北森孝男委員長)を招集。降灰を行った。降灰対策等について集中審議を行った。降灰除去車両は、約65%が購入件数が増加している。そのため、「活動火薬規制特別措置法」等によつては、高燃化率が高くなる場合には、減算される。

鹿児島市議会は1日、桜島爆発対策特別委員会(北森孝男委員長)を招集。降灰を行った。降灰除去車両は、約65%が購入件数が増加している。そのため、「活動火薬規制特別措置法」等によつては、高燃化率が高くなる場合には、減算される。

現状は55台を所有し、20年以上の車両が36台。また、10年以上経過した車両も金属やパイプの腐食などにより、水害が拡大する懸念など活動が予想され降灰被害が拡大する懸念などから、水道施設の整備に対する財政的支援も必要としている。

特に、河頭浄水場は、最も重要な施設で全体施設能力の38%を占め。降灰の影響で取水停止時間が長時間におよぶ場合は、高燃化率が高くなる場合には、減算される。

専用の袋に入れて集積指定場所へ搬出しても、このほか、同市水道局が喜入町で計画しているポンプ室の申請に同意した。

鹿児島市は7月31日、第1回建築審査会を市役所で開き、建築基準法ただし書きの規定に基づき5件の建築を許す。

コンクリ工作物解体等講習

28、29日、始良市で

県内の公共土木施設

12年災・1次査定

大島4カ所に3900万円

のうち、2012年に

川3カ所(2981万円)、市町村が道路1カ所(950万円)となっている。道路の被災個所は龍郷町だった。

工事区分は、県が河川3カ所(2981万円)、市町村が道路1カ所(950万円)となっている。さつま市の金峰2000年橋

大坂納涼祭」が13日午後6時30分から、南さつま市の金峰2000年橋公園で開かれる。

当日は、歌謡ショー! 民謡などの演芸や縄跳び、花火ショー、お祭り、抽選会などが行われる。

問い合わせは、金峰

13日、南さつま市で
大金峰2000年橋
大坂納涼祭

第1次審査で5社程

のうち、2012年に

のうち、2012年に